

社会(環境)変化への対応を意識して  
Survival of the Fittest!

学校再開から2週間。県内では3週間という地域もあります。突然の暑さで一気に夏模様の中での1学期(未だ)前半です。感染拡大防止に加えて、熱中症対策も喫緊の課題です。勿論、学校教育の課題は多岐に亘り、複数の諸課題を同時並行で進めていくことがいつもながら求められています。

おおよそ、日本全国、世界を見渡しても、多くの組織の課題は、「緊急度(urgency)と重要度(significance)」の「2×2」で分類されるでしょう。平時の時こそ、重要だが緊急性のない課題の検討を行っていくことが不可欠ですが、上手くできている組織は少ないと聞きます。小職が以前企業の社内研修講師を務めていた際に、「2×2」に関して「日々の仕事で最も大切な領域はどれか。」と質問した時、多くの研修参加者は「緊急度は低いが重要度の高い業務」との回答でした。頭では理解しているが実践が難しい一例です。

〈緊急度×重要度 2×2の例〉

	重要度低	重要度高
緊急度低	マニュアル業務	方向性、戦略、戦術、ファーストケースシナリオ等の検討 (学校休業中の教材研究等)
緊急度高	失念業務など	災害を含む重大な危機対応

学校は3ヶ月間の臨時休業中で感染症対策等を検討してきましたが、実際に児童生徒が学校に戻ってきた中で施策を展開していくと改善すべき事項も見えてきます。やはり、走りながらスピード感をもって改善・改良していくことが肝要です。とにかく未曾有の危機下です。スピード感をもって社会(環境)変化に対処していくことが、「組織の使命」、かつ「仕事の醍醐味」でもあります。

環境・社会・ビジネスのデジタルトランスフォーメーション(DX)<sup>※</sup>、メンバーシップからジョブ型への変換、リモートワーク等々も同様です。もしかしたら、10~30年遅れの検討事項だったのかもしれないね。<sup>※行動、知識、モノがデジタルに置き換わる大きな変革</sup>

*Don't stand still. Let's move on!*

「雲は いろんな形に 七変化」すごいなあ (校舎の上にくものお山が...)

